

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

7

July
2024

山形県中小企業家同友会

月刊 同友

やまがた



第27回女性経営者全国交流会 in大阪

社長の[®]
学校

よい会社 よい経営者 よい経営環境をゆでず
中小企業経営者の全国組織

2024年度スローガン

自社の存在意義を問い直し、
地域と共に豊かな未来へ

第28回置賜支部総会

未来を思い描き「自社の存在意義」を問い直そう！



5月20日、招湯苑を会場として第28回置賜支部総会が開催され36名が参加しました。

総会では、「未来を思い描き『自社の存在意義』を問い直そう！」をスローガンとした2024年度活動方針が採択され、活動の旗振り役である役員に

は支部長として本多作之助氏が新任されました。副支部長には小関幸一氏と鎌水伸一氏が再任されました。

記念講演では、(株)ティスコ運輸 代表取締役 菅原茂秋氏が「物流がやれること…自社の存在意義を磨き上げろ！～目を背けたい未来に目を向けよう～」を題として実践報告をしました。

(株)ティスコ運輸は2000年に創業し、運送業から始まり、現在では倉庫や流通加工などを含めたトータル物流事業やホームサービス事業など、事業領域を大きく広げています。

創業当時、菅原氏は自身もドライバーとしてがむしゃらに

働く中で、同友会の例会へ誘われ参加。経営者の赤裸々な報告を聞いて「この会は違うかもしれない」と感じて入会し、2007年には経営指針を作成しました。

経営指針を作成する中で顧客の本質的課題について考え、自社の事業定義を「物流最適化業」とします。ただ物を運ぶだけではなく、輸送効率を最適化することで顧客のコスト削減や時間短縮、環境への配慮を実現することを掲げ、物流センターを設立し事業を広げていきました。現在はさらに「物流全体最適化業」と事業を再定義し、物流関連サービスをワンストップで効率的に行うことで市場創造・価値創造につなげ、県内の産業を活性化することを考えています。

最後に菅原氏は「創業してから、自社をどう良くするかを考えていた。それから同友会に出会い、顧客最適を考え、今は社会における自社の存在意義を問い直し続けている。地域の未来のためには、存在意義が明確な意思ある中小企業が必要。共によい経営者になり、よい会社にして、よい経営環境をつくっていきましょう」と記念講演を締めくくりました。

その後の懇親会は、志田清志前支部長の乾杯で開会し、ゲストも交えて大いに盛り上がり交流を深めました。

第30回さくらんぼ支部総会

本当にそれでよいのか、常に問いかけよう



5月22日、東根温泉旅館さくら湯において、第30回さくらんぼ支部総会が開催され35名が参加しました。

総会では、「本当にそれでよいのか、常に問いかけよう」をスローガンとした2024年度活動方針が採択され、活動の先頭に立つ役員には支部長として白鳥明美氏が、副支部長には菊地仁士氏、齋藤和彦氏、齊加義三氏、大山和宏氏が再任されました。

記念講演は、酒田米菓(株) 代表取締役 佐藤栄司氏より「動かなければ出会えない、出会えなければ始まらない」と題し、ご講演いただきました。

佐藤氏はまず、「人が動くを書いて動く」になると述べ、コロナ禍の中でも歩みを止めず、精力的に展示会に参加し、出会いを大切にしながら、噛むことと健康を掛け合わせた商品や、OEMの商品開発など、米菓の新たな可能性を見出してきた自社の取組みについて説明しました。佐藤氏がなにより大切にしているのは「動く」ということ。「動かなければ出会えない、

出会えなければ始まらない」を行動指針に、考えたことをまず実行に移して見ることに重きを置いています。そして、数字だけを追うのではなく、「何のために？」「本当に社員ののためか？」を常に問いかけています。

「酒田米菓を残したい」と決意して社長に就任すると、経営を楽しむだけではなく、人の悩みがでてきました。何とかしたいと学びの場に赴く中で、「人を雇うことは関わる全ての方に責任を持つ」ことであると思い至りました。働く人がもっとよくなるためにはどうすれば良いかを考え、悩みを一つずつ解決し、関わる全ての人を笑顔にしたいという想いがあふれていきました。自身が参加して良いと感じた研修には社員も参加してもらうことで共通言語ができ、仕組化することで、社員が「考動」する組織に変わってきています。

佐藤氏は動きすぎて失敗したことも多々あると述べた上で、「動くことで色々なことが起こる。すべての出来事は“ギフト”。動かなければギフトはない。自分を知り動き続けよう」と述べ、大変な時こそ歩みを止めず踏む出すことで新たな世界が拓けると強調しました。

その後行われた懇親会は、川合勝芳代表理事の乾杯で開会しました。昨年度入会した新会員も参加し、和やかな雰囲気の中、大いに懇親を深めました。

第38回寒河江支部総会

共に明るい未来へチャレンジしよう



5月23日、ホテルシンフォニーを会場として第38回寒河江支部総会が開催され32名が参加しました。

総会では、「共に明るい未来へチャレンジしよう」をスローガンに掲げた2024年度活動方針が採択され、実行推進を担う役員には支部長として井田進一郎氏、副支部長には伊藤茂氏と小野慎弥氏が再任されました。

実践報告では、寒河江物流(株) 代表取締役 後藤智樹氏が「自社の存在意義を問い直し、企業価値の向上に挑む」をテーマに報告しました。

寒河江物流(株)は輸配送を含め、荷物の保管や流通加工など、物流に関する様々なサービスを提供する企業です。後藤氏は幼い頃から創業者である祖父に「後継者にする」と言われて育ちました。大学卒業後、寒河江物流(株)に入社すると、社長の親族という立場から社員の不平不満のはけ口になり「社員のコ

とが嫌いで、信用できなかった」と当時を振り返ります。

そして、何のために頑張るのか分からなくなっていた2007年。同友会に誘われて入会し、経営指針をつくる会を受講します。同友会で学び、一番変わったのは「考え方」だと後藤氏は語ります。社内の様々な問題を他人のせいにしてきた考え方が変わり、経営者である自分が努力するべきだと感じるようになりました。

後藤氏が入社した当時、寒河江物流(株)の事業は運送業のみでした。しかし、様々な場で学び、自社の存在意義を問い直し続けたことで、事業定義が運送業から物流業、そして運送倉庫複合サービス業へと変化。現在は「物流の価値創造事業」と定義しています。その変遷の中で、一般倉庫の建設や温度管理輸送への参入、近年では冷凍・冷蔵倉庫設立やAIを活用したハイブリッド冷凍車の導入など、隣接異業種へと事業を拡げていきます。

最後に後藤氏は「企業価値とは何か。色々な基準があるが、やはり人材が重要。自社が設備投資をし続けるのは価格決定権を持ち、社員さんが幸せに暮らせる給与を実現するため。これからも学びと実践を続け、人を生かす経営が根付いた世界のため、皆さんと一緒に同友会運動を広めていきます」とまとめました。

その後、懇親会が行われ、(株)アドクリン 代表取締役会長 安藤 昌則氏の乾杯で開会し、懇親を深めました。

第20回庄内支部総会

共に学び、共に創る 連携の力で魅力ある地域を育てよう



5月24日、グランドエル・サンにて第20回庄内支部総会が開催され、来賓を含め37名が参加しました。

第1部の総会では、「共に学び、共に創る 連携の力で魅力ある地域を育てよう」をスローガンに掲げた2024年度活動方針が承認され、活動の先頭に立つ役員として、支部長に小寺祐也氏、副支部長に平形洋司氏(鶴岡地区会長)と後藤正人氏(酒田地区会長)が再任されました。

第2部の記念講演では「自社経営の未来と経営指針」と題して、山形大学大学院理工学研究科 教授 小野浩幸氏にご講演頂きました。

小野氏ははじめに、同友会運動の中で生まれた考え方とP.F.

ドラッカーの著作や経営学の共通点を指摘。経営環境が変わった今でも「労使見解」などが現代的に読み替えられ、さらに大きな意味を持つようになったと分析しました。そして現代において成長する企業像として、ジム・コリンズの経営理論やWBC日本代表の事例を紹介し、謙虚に厳しく現状を認識しつつも強い意志で勝利を確信する、あるべきリーダー像を提起しました。

そして経営指針成文化の理由について、戦うべきかどうかの判断や戦うときに取るべき戦略戦術の判断基準を明文化するためという古典的戦略論からの解釈を紹介。最後に「世界に提供する価値が重視される現代において、庄内支部は地域共生委員会を立ち上げるなどして時代に合致した組織。だからこそ皆さんがビジョン、戦略を明文化して現状認識を共有し、連携していくことが重要」と締めくくられ、第2部が閉会しました。

その後、来賓の山形県庄内総合支庁 総合支庁長 村山朋也様から乾杯の御発声をいただき第3部懇親会を開会。さらに懇親を深める支部総会となりました。

理念・方針・計画の作成で会社を変えよう

6月1日、ホテルシンフォニー本館において、第29期経営指針をつくる会が開講しました。会場には受講生7名をはじめとして、50名が集まりました。今期はプログラムの見直しをはかり、「ミッション」「ビジョン」「バリュー」を明確にし、経営理念の早期確立を目指します。



開講に先立ち、小川経営指針委員長があいさつに立ち「私も10年前、19期で受講しました。経営指針書をつくり、毎年ブラッシュアップし、同友会活動にもしっかりと関わってきました。受講していなかったら、社員もいなくなる状況があった

のではないかというくらい、自分を鍛え上げることができました。素晴らしい学びと、素晴らしい仲間との出会いに感謝し、人生の中で一番良かったと思える半年間にしてほしい」と述べました。

続いて、菅原代表理事があいさつに立ち「経営指針づくりでは本気度が問われます。胸襟を開いて本気で向き合い、自分自身の核心を持つものをつくっていただきたい。経営を見直し、自社が何を提供しているのか本質に触れる機会は少ない。しっかりと学び、経営の本質にたどり着いてください。更なる企業発展によって、雇用が維持され、地域が発展していく、そんなつながりを持てる場にしていきたい」と述べ、エールを送りました。

第1講では、「同友会らしい経営指針の確立～現状認識を深め、経営理念作成をめざして」と題し、山形大学大学院理工学研究科 教授 小野浩幸氏よりご講義いただきました。



はじめに小野氏は、経営者に必要な資質として「真摯であること」を挙げ、経営者には、お客や社員、社会に対して誠実であり続けることと同時に、正しいと信じることをやり遂げる強さが求められると説明しました。また、アンゾフのマトリクス

図を例に、既存の商品を用いて新たな市場開拓をする「水平展開」と、商品の持つ価値や機能をより充実させる「垂直展開」の2つを同時に実現する両利きの経営に取り組むことができると強調しました。小野氏は最後に「事業としては、①自分や地域が誇りを持てるものか、②世界一（日本一）になれるか、③顧客が喜んで対価を払うに足るかの3つの条件を満たすか。また働く者にとっては、①情熱をもって取り組めるか、②得意なことか、③必要とされるものか、④経済的に見合うものかという4つを満たすかを考え商品の方向性を考えてほしい」と述べました。



第2講では、ハンズバリュー(株) 代表取締役 島田慶資氏より、「労使見解について学ぶ」と題した講義がありました。島田氏は「人を生かす経営」や同友会の例会、全国行事等を通じて得た学びは自身と自社への問題提起であると捉えることが重要だと

述べ、どのように実践してきたか説明しました。その上で、『人を生かす経営』を読み深め、あらゆる角度から自分で答えを考えながら、血肉としていく必要性を説きました。

その後、「会社の現状はどうなっていますか?」「何のために経営していますか?」をテーマに二回のグループ討論を行い、経営理念の作成に入りました。自社の強みや弱みは何か、経営課題は何か、どんな会社になりたいのかなど、様々な角度から向き合いました。翌日には悩み、何度も書き直しながら作成した「経営理念」を発表し、検討を行いました。

受講生は、これから半年間の講義を通して、自身と自社に矢を向けながら向き合い、経営指針書の完成を目指します。



7月例会のご案内

山形支部

誰もが活躍できる 「働き方改革」を考える

2024.7.11(木) 14:00~16:30

場所: TISカンファレンスセンターB・C会議室&Zoom
山形市漆山字大段1865-5 TISビルディング3階 ☎0120-730-389

報告者: (有)ミートの元気商事 代表取締役 中村明美氏

女性の更なる活躍がこれからの社会において重要なポイントになってきています。女性の活躍を考えるためには、女性の働く環境づくりに取り組むだけでは十分ではありません。女性も、男性も、誰もが活躍できる環境をつくる必要があります。経営指針をつくる会の受講をきっかけに、働く環境づくりに取り組んでいる(有)ミートの元気商事 中村社長の報告から、誰もが活躍できる環境づくりについて考えあう機会としましょう。

寒河江支部

2024.7.30(火) 18:30~20:30

場所: 寒河江市技術交流プラザ&Zoom
寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者: (株)エスパック 代表取締役社長 佐藤健太郎氏

詳細は追ってご案内いたします。

置賜支部

ビアパーティー

2024.7.22(月) 18:00~20:30

場所: 上杉伯爵邸
山形県米沢市丸の内1丁目3-60 ☎0238-21-5121

会員同士がつながりを深め、顔と企業が見える支部を目指し、7月例会は上杉伯爵邸にてビアパーティーを行います。ビアパーティーはお互いを知り合い、交流を深める絶好の機会です。

経営者の熱い思いが企業と地域の未来を切り拓く鍵です。明日の経営の種を持ち帰りましょう。

皆様、お誘いあわせの上ぜひご参加ください。

女性部

第27回女性経営者全国交流会in大阪 報告スペシャル

2024.7.23(火) 13:30~15:30

場所: 同友会事務局&Zoom
山形市漆山字大段1865-5 TISビルディング201号室

第27回女全交が6月13日、14日と大阪・難波において、『一人ひとりが輝く未来~大阪から始まる新たなHistory~』の開催テーマのもと開催されました。人とのつながり、地域とのつながりの中で寄り添い、共感し、違いを認め合い高め合うことを確認し、新しい価値を創造し幾多の困難を乗り越えていきたいと未来を切り拓く力を一緒に育む機会となりました。第2回女性部例会は、女全交に参加された方のミニ報告から、男女共同参画への理解と実践のため、そして共に生かしあい、育ちあうためには何が必要なかを見つめる機会といたしましょう。皆様のご参加をお待ちしております！

庄内支部

良い会社をつくり上げる取り組み、ここにありますよ！ in庄内 企業変革支援PG Ver.2の活用で 課題を見つけ改善につなげる

2024.7.18(木) 15:30~18:00

場所: マリカ東館 第2研修室 ※Zoom参加不可
鶴岡市末広町5-1

報告者: (株)カーサービス山形 代表取締役 小川大輔氏

同友会の企業変革支援プログラムを知っていますか？自社を良くしたいけれども何をしたらいいのだろうか？知っている様で知らない自社の課題とは？などやるべき課題が見つかるのがこのプログラムです。Ver.2になり自社の課題を優先的に洗い出し、診断からレベルアップのための方策の検討まで一気通貫で取り組むことができる構成になりました。今回の例会では会社全体で取り組んでいる小川社長より、自社の取り組み事例を紹介してもらい、実際にシートに記入するワークショップ形式で分かり易く紹介していただきます。

さくらんぼ支部

意識を変えろ！行動に移せ！ そして「災強」の会社へ

2024.7.22(月) 15:00~17:30

場所: タントクルセンター栄養指導室&Zoom
東根市中央1-5-1 ☎0237-43-1155

報告者: 防火管理サポートプラスワン 代表 鈴木真人氏

鈴木氏は、長年勤めた消防署を離れ、火事や災害が起きてから動くのでは救える命も守れる財産にも限界がある、不断の備えがあつてこそ、と昨年12月に防火管理コンサルタントとして起業しました。災害はゼロにはならないけれども、被害は常日頃の想定・準備・訓練次第でゼロにすることは可能だと鈴木氏は語ります。備えを怠った企業がどうなったのか、またBCPを作成することで受けられる助成金などについてもご説明いたします。共に「災強」といえる会社を目指して、BCPの必要性について考えあう機会にしましょう。

新庄最上支部

カギは「同友会のグループ討論」!? 会議活性化術

2024.7.30(火) 18:30~21:00

場所: わくわく新庄 会議室 ※Zoom参加不可
新庄市下金沢町15-1

講師: (株)ティスコ運輸 代表取締役 菅原茂秋氏

会社の会議は、活発な意見が飛び交い、社員が本音で話せる実りあるものになっていますか？

「例会のグループ討論が苦手」という声をよく耳にしますが、グループ討論は「学びのシェア」です。報告/講演のあとに討論することで、違う視点を持つ他の参加者の気づきを共有したり、自身の学びを復習できるので、その日の学びを自社の実践に取り入れやすくなります。

つまり、同友会のグループ討論は、多様な意見が出てやるべきことがしっかり決まる、実りのある会議づくりを練習するのに最適な場でもあるのです！

7月例会では、菅原代表理事から学びの深まるグループ討論についてお話しいただいてから、砕けた雰囲気ですぐにグループ討論を行います。

ぜひ実りある会議づくりにお役立てください！

第2回理事会報告

◆日時:2024年6月10日(月)午後3時00分~午後4時50分 ◆会場:TISカンファレンスルーム ◆議長:阿部副代表理事

◆出席者:(敬称略)菅原、川合、佐藤(啓)、阿部、小川、庄司、大江、前盛、齊加、大泉、後藤(康)、飯野、中川、菊地、武内、後藤(智)、玉津、小野、白鳥、小寺、平形、事務局矢作、芳賀、青木、上遠野

■開会挨拶

菅原代表理事より「各支部で総会が行われ、新たな支部長や幹事が選出された。ぜひ活性化に向けて、意見を出していただきたい。7月4~5日に中同協定時総会が開かれる。スローガンは『創ろう豊かな未来を、育てよう21世紀型企業を~同友会運動の新たなステージ~』に決定した。年度方針を共有し、共に使命感を持って学び、同友会運動を広げることで地域の雇用を守っていけるよう協力していきましょう」と挨拶がありました。

■学習会

「副業・兼業」をテーマとして、各社の現状をもとに意見交換を行いました。

■報告事項

- 1)中小企業魅力発信月間キックオフ行事(Zoom)6/5 2名
矢作事務局長より、本行事の開催意義と、大阪公立大学商学部教授本多哲夫氏が「地域・中小企業の発展と憲章・振興条例の役割」をテーマに講演したことなどの報告がありました。
- 2)中同協第5回幹事会(Zoom)6/6 2名
矢作事務局長より、中同協定時総会の諸準備と議案に関する確認、全国行事・各委員会・連絡会からの報告、中山幹事長からは2023年度会勢が全国ではプラスになったものの、純増が26同友会、減少が21同友会で格差が出てきていること、林経営労働委員長からは労使見解に学び、企業変革支援プログラムを活用しながら経営指針を更新してきた実践から問題提起があったことなどの報告がありました。
- 3)2024年度5月月次報告
矢作事務局長より報告がありました。
- 4)2024年度5月月次決算報告
矢作事務局長より報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 4名入会 1名退会 486名

■討議事項

議題1:第40回定時総会のまとめ

大泉理事が、リアル開催にこだわり準備を進め、支部長をはじめとする各支部幹事の協力で目標参加動員を達成することができたとお礼を述べた後、今回の特徴と課題、収支について報告し、承認されました。

議題2:役員研修会について

菅原代表理事が、参加申し込み状況を確認の上、参加呼びかけを行った後、第1講のタイムスケジュールの役割分担が行われました。

議題3:中同協第56回定時総会について

川合代表理事が、代議員目標35名に対して15名の申し込み状況を報告し、参加の呼びかけを行った後、総会議案(中小企業家しんぶん6/5号)について説明し、「総会議案は自社経営の参考になる部分が多くある。ぜひ読んでいただきたい」と述べました。議案に対する意見については事務局で取りまとめ、中同協に送ることを確認しました。

議題4:経営環境の調査について

川合代表理事が、中同協対外委員会が中小企業庁や金融庁、金融機関の全国組織との懇談会で中小企業の実態や要望を伝えるために実施している「経営状況と支援施策」についてのアンケートの趣旨などを説明し、回答への協力を依頼しました。

議題5:会員増強の取り組みについて

菅原代表理事より、組織委員会で各支部の会員増強の取り組み状況を交流し、退会した方も経営環境の変化などで同友会の学びが必要な方もいるため退会者を確認することや、いつまでもゲスト参加が無料なのはどうかという問題提起があり、今後各支部の意見を集約しながら議論していくこと、またHPに掲載するプライバシーポリシー案の検討や「同友会を知る会」の予定などについて報告しました。

【今後の同友会を知る会】

日時・会場	歴史と理念	体験報告
6月17日(月)15:00 同友会事務局	後藤代表理事	大山和宏
7月26日(金)15:00 同友会事務局	菅原代表理事	長谷川吉之介

議題6:各委員会などより

1)第29期経営指針をつくる会開講

小川副代表理事より、6月1~2日に経営指針をつくる会の第1講が開催され、山形支部から1名、さくらんぼ支部から2名、置賜支部から2名、庄内支部から2名の計7名が受講し、終了後に受講生から「ここまで真剣に自社のことを考えたことはなかった」という感想があったと報告がありました。

2)さくらんぼ支部より新春交流会について

さくらんぼ支部より、新春交流会の実行委員長が齋藤和彦氏(㈱トヨタライン 代表取締役)に決まったと報告がありました。

3)同友会ゴルフコンペの件

小川副代表理事より日程や会場などの説明があり、開催することが決定しました。

議題7:依頼事項について

1)地域経済分析システム「RESAS」に関する有志意見交換会

矢作事務局長より説明があり、承認されました。

2)福岡同友会との交流について

佐藤専務理事より、福岡同友会が低学年インターンシップの取り組みについて知るために山形大学を訪問する際、山形同友会の会員も参加して情報交流会と懇親会を行うと説明がありました。

3)山形県産業労働部産業創造振興課より「山形承継学アカデミー」の周知依頼 矢作事務局長より説明と参加呼びかけがありました。

■その他

1)今後の予定について

- ・6月13日(木)~14日(金)第27回女性経営者全国交流会(大阪)
- ・6月18日(火)役員研修会第1講(TISカンファレンスセンター)13:30~
- ・6月24日(月)インターンシップ説明会(山形テルサ)14:00
- ・7月4日(木)~5日(金)中同協第56回定時総会(仙台)
- ・7月5日(金)中同協第1回幹事会(仙台)
- ・7月6日(土)第29期経営指針をつくる会第2講(TISカンファレンスセンター)9:00~
- ・7月11日(木)~12日(金)東北芸術工科大学業界・仕事研究オンライン説明会17:10~18:30
- ・7月17日(水)幹部社員研修1講(TISカンファレンスセンター)13:30~
- ・7月24日(水)役員研修会第2講(TISカンファレンスセンター)13:30~
- ・8月20日(火)組織強化・会員増強全国交流会(Zoom)
- ・8月30日(金)中同協経営労働委員会(Zoom)
- ・9月11日(水)中同協女性部連絡会(東京)
- ・9月12日(木)~13日(金)北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会(秋田)
- ・9月19日(木)~20日(金)青年経営者全国交流会(宮崎)

2)今後の常任理事会と理事会日程について

第3回常任理事会	7月3日(水)16:00	第3回理事会	7月10日(水)15:00
第4回常任理事会	8月1日(木)16:00	第4回理事会案	8月7日(水)15:00

■閉会挨拶

佐藤専務理事より「『同友やまがた』を開封すると以前より案内が増えている。それだけ活動が充実し、同友会の魅力・価値が深まっていることを実感している。また最近、若者の考えとのギャップを強く感じている。以前であればコミュニケーションは顔と顔を合わせることであったが、若者は顔を合わせず、メールやチャットがコミュニケーションと思っているように感じる。今風のコミュニケーションをどう受け止めるかも重要だが、同友会の我々は、しっかりと顔を合わせて共有していきたい」と挨拶がありました。

新会員紹介

ひらの あきひろ
◆ **平野 晃宏氏**
(有)奥山経営センター
取締役専務
情報処理
山形支部

とうち よしこ
◆ **戸内 美子氏**
(株)カノン
代表取締役
介護事業
山形支部

とうち しゅうたろう
◆ **戸内 修太郎氏**
(株)カノン
専務取締役
介護事業
山形支部

えんどう かずひさ
◆ **遠藤 一寿氏**
(株)イーレイキ・コム
業務用冷凍・空調機器販売設置
置賜支部

同友やまがた7月号(2024年7月1日発行/通巻376号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304
URL:https://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp